TQ_Cover_ja-JP

経済協力開発機構（OECD）
Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD)

国際教員指導環境調査（TALIS）2024
Teaching and Learning International Survey (TALIS) 2024

教員質問紙

本調査版

日本語版

国内調査実施：文部科学省国立教育政策研究所

国際コンソーシアム

国際教育到達度評価学会（IEA）（オランダ、ドイツ）

オーストラリア教育研究所(ACER)（オーストラリア）

ランド・ヨーロッパ（RAND Europe)（イギリス）

cApStAn（ベルギー）

国際教員指導環境調査（TALIS） 2024について

国際教員指導環境調査（TALIS）2024は、校長及び教員の皆様に、教育分析や教育政策の進展の一助を担っていただく国際調査です。TALISは経済協力開発機構（OECD）によって実施されており、日本は他の50以上の国とともにこの調査に参加しています。

TALISの国際比較により、共通の課題を明らかにしたり、他国の政策から学ぶことが可能になります。校長及び教員の皆様には、多様性や公平性、児童／生徒の社会情緒的学習、ICTの活用、環境と持続可能性に関する教育といった教育課題だけでなく、自身の教育や専門的な学習、教育実践、職業に対する意識、制度的な環境や運営管理などに関する様々な事柄について情報を御提供いただきます。
TALISでは、参加国の様々な指導の実態を明らかにすることを目的としています。教育へのアプローチは、国によって、また個々の教員によって異なっていると思われます。御自身の仕事の内容や御意見を、皆様の専門知識に基づいてできるだけ正確にお答えください。

国際調査であることから、日本の事情に必ずしもそぐわない質問があるかもしれませんが、それらの質問については、可能な範囲で回答いただければ結構です。

機密保持

この調査で集められた全ての情報は厳重に取り扱われます。国別及び学校種別のデータは公表されますが、この調査の結果に関するいかなる報告書においても、個人や学校が特定されることは決してありません。調査への参加は任意であり、いつでも取りやめることができます。

質問紙について

- 質問の中で「この学校／現在の学校／あなたの学校」というときには、この質問紙への回答を求められた学校を意味します。
- この質問紙への回答に要する時間は、平均45分から60分間と見込まれています。
- 質問の多くは、最も当てはまるものを一つ選び回答するものです。
- この質問紙への回答が終わりましたら、校内締切り日までに、終了したことを必ず校内担当者にお伝え願います。
- この質問紙及び調査に関して御不明な点等がありましたら、校内担当者を通じて国立教育政策研究所までお問い合わせください。

御協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

TQ_Headline_Background_ja-JP

先生御自身について

以下の質問は、あなた御自身、あなたの学歴、勤務経験に関するものです。
質問への回答に当たっては、当てはまるものを選択するか、必要に応じて数字を入力してください。

TQ_01_ja-JP

あなたの性別はどれですか。

当てはまるものを一つ選択してください。

- [ ] 女性
- [ ] 男性
- [ ] どちらともいえない

TQ_02_ja-JP

あなたの年齢をお答えください。

数字を入力してください。

☐ 歳

TQ_03_ja-JP

あなたの最終学歴は、以下のうちどれですか。

当てはまるものを一つ選択してください。

☐ 中学校・義務教育学校・中等教育学校前期課程

☐ 高等学校（専攻科を除く）・中等教育学校後期課程

☐ 高等学校専攻科

☐ 短期大学・専門職短期大学・高等専門学校・専門学校

☐ 大学学部・専門職大学（短期大学専攻科などの学士相当も含む）

☐ 大学院修士課程・大学院博士前期課程・専門職大学院（例：教職大学院）

☐ 大学院博士後期課程

TQ_04_ADL_ja-JP

あなたが初めて取得した教員免許状は、どのような方法で取得しましたか。

教職課程を経て取得とは、大学等の教職課程を経た取得のことをいいます。

教職課程以外の専門的な試験等による取得とは、特別免許状や教員資格認定試験による取得等のことをいいます。
教科専門科目のみの課程で取得とは、高等学校の工業の免許状を教科専門科目のみの修得（教職科目未修得）での取得等のことをいいます。

その他の方法で取得とは、臨時免許状の授与等をいいます。

当てはまるものを一つ選択してください。

☐ 教職課程を経て取得

☐ 教職課程以外の専門的な試験等による取得

☐ 教科専門科目のみの課程で取得

☐ その他の方法で取得

☐ 正式な免許状を保有していない

TQ_05_ja-JP

あなたが初めて教員免許状を取得したのはいつですか。

およその年で結構です。

免許状の授与を受けた年（西暦）を入力してください。

☐ 年

TQ_06_ja-JP

あなたの最初の教員免許状の取得について、以下のことは、どの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1) 担当する教科の理解が深まった	☐	☐	☐	☐
(2) 適切に学級経営するための考えを学べた	☐	☐	☐	☐
(3) 学級観察のための時間が十分にあった	☐	☐	☐	☐
(4) 指導の理論面と実践面の間のバランスがとれていた	☐	☐	☐	☐
(5) 学校で教えるために必要な実践的機会が十分にあった	☐	☐	☐	☐
(6) 全体的に、質が高かった	☐	☐	☐	☐

TQ_07_ja-JP

あなたが受けた公的な教育や研修によって、今年あなたが教える上での以下のことについての準備がどの程度できたと思いましたか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全くできなかった	いくらかできた	かなりできた	非常によくできた
(1) 担当するいくつか又は全ての教科の内容	☐	☐	☐	☐
(2) 担当するいくつか又は全ての教科の指導法	☐	☐	☐	☐
(3) 一般の指導法	☐	☐	☐	☐
(4) 自分の担当するいくつか又は全ての教科の指導実践（教育実習、インターンシップ）	☐	☐	☐	☐
(5) 多文化又は多言語環境における指導	☐	☐	☐	☐

(6) 指導へのICT等（デジタルリソースやツール）の使用

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 生徒の社会情緒的発達の支援

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 生徒を環境の持続可能性に関する事柄に関わらせること

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_07 (ISCED1)_ja-JP

あなたが受けた公的な教育や研修によって、今年あなたが教える上での以下のことについての準備がどの程度できたと思いましたか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全くできなかった	いくらかできた	かなりできた	非常によくできた
(1) 担当するいくつか又は全ての教科の内容	☐	☐	☐	☐

(2)　担当するいくつか又は全ての教科の指導法

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 一般の指導法

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 自分の担当するいくつか又は全ての教科の指導実践（教育実習、インターンシップ）

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 多文化又は多言語環境における指導

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 指導へのICT等（デジタルリソースやツール）の使用

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 児童の社会情緒的発達の支援

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 児童を環境の持続可能性に関する事柄に関わらせること

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 遊びや子供同士の関わりの促進

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 幼稚園・保育所・認定こども園から小学校（義務教育学校前期課程を含む）への子供の接続の支援

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_08_ja-JP

教職は、あなたの第一志望の職業でしたか。

「職業」とは、あなたの生涯にわたる仕事になると考えられる、報酬を伴う仕事を指します。

当てはまるものを一つ選択してください。

☐ はい

☐ いいえ

TQ_Headline_Current_Work_ja-JP

現在の仕事について

TQ_09_ja-JP

この学校におけるあなたの教員としての雇用形態は、以下のうちどれですか。

当てはまるものを一つ選択してください。

- ☐ 終身雇用 （定年以前に雇用の終了時期が定められていない継続的雇用）
- ☐ 1年を超える有期雇用契約
- ☐ 1年以下の有期雇用契約

TQ_10_ja-JP

あなたは、現在、他の中学校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程を含む）でも教員として勤務していますか。

当てはまるものを一つ選択してください。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

TQ_10_AXL_01_ja-JP

あなたは、現在、他の小学校・義務教育学校前期課程でも教員として勤務していますか。

当てはまるものを一つ選択してください。

☐ はい

☐ いいえ

TQ_11_ja-JP

前の質問で「はい」と答えた方は、この学校以外にいくつの中学校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程を含む）で勤務していますか。

数字を入力してください。

☐ 校

TQ_11_AXL_01_ja-JP

前の質問で「はい」と答えた方は、この学校以外にいくつの小学校・義務教育学校前期課程で勤務していますか。

数字を入力してください。

☐ 校

TQ_12_ja-JP

この学校におけるあなたの教員としての現在の雇用形態は、以下のうちどれですか。

当てはまるものを一つ選択してください。

☐ 常勤（常時勤務の90%を超える労働時間）

☐ 非常勤（常時勤務の71～90%の労働時間）

☐ 非常勤（常時勤務の50～70%の労働時間）

☐ 非常勤（常時勤務の50%未満の労働時間）

TQ_13_ADL_ja-JP

常勤・非常勤にかかわらず、あなたの勤務経験は何年ですか。

育児休業などの長期休暇・休業の期間は除外してください。

各項目に数字を入力してください。 該当しない場合は 0 (ゼロ)と入力してください。

１年未満は１年に切り上げて入力してください。例えば、勤務経験１年目であれば、「1」と入力してください。

(1) 現在の学校での教員としての通算勤務年数

☐ 年

(2) 教員としての通算勤務年数

☐ 年

(3) 教員以外の他の教育関係の仕事 （例 ： 教育委員会の指導主事、大学教員、保育士）での勤務年数

☐ 年

(4) その他の教育関係以外の仕事での勤務年数

☐ 年

TQ_14_ADL_ja-JP

直近の通常の一週間において、この学校で求められている仕事に、合計でおよそ何時間（１時間＝60分換算）従事しましたか。

指導（授業）、授業準備、採点、他の教員との共同作業、職員会議や専門的な学習への参加、その他の仕事に費やした時間を含みます。また、週末や夜間など就業時間外に行った仕事も含みます。
「通常の一週間」とは、休暇や休日、病気休業などによって勤務時間が短くならなかった一週間のことを指します。

四捨五入して時間単位で数字を入力してください。

☐ 時間（合計）

TQ_15_ADL_ja-JP

この合計のうち、直近の通常の一週間において、およそ何時間（１時間＝60分換算）指導（授業）しましたか。

実際の指導（授業）時間のみを計算してください。

授業準備や採点、専門的な学習などに費やした時間については、次の質問でお尋ねします。

四捨五入して時間単位で数字を入力してください。

時間
☐

TQ_16_ADL_ja-JP

直近の通常の一週間において、あなたは、この学校での以下の仕事に合計でおよそ何時間（１時間＝60分換算）従事しましたか。

週末や夜間など就業時間外に行った仕事を含みます。指導（授業）時間については前の質問でお尋ねしていますので、その時間は全て除外してください。

およその推定値で結構です。

以下の仕事に従事しなかった場合は、０（ゼロ）を入力してください。

四捨五入して時間単位で数字を入力してください。

(1) 学校内外で個人で行う授業の計画や準備

☐ 時間

(2) 学校内での同僚との共同作業や話合い

☐ 時間

(3) 児童／生徒の課題の採点や添削

☐ 時間

(4) 児童／生徒に対する教育相談（例：児童／生徒の監督指導、インターネットによるカウンセリング、進路指導、非行防止指導）

☐ 時間

(5) 学校運営業務への参画

☐ 時間

(6) 一般的な事務業務 (教員として行う連絡事務、書類作成その他の事務業務を含む)

☐ 時間

(7) 専門的な学習活動

☐ 時間

(8) 保護者との連絡や連携

☐ 時間

(9) 課外活動の指導（例：放課後のスポーツ活動や文化活動）

☐ 時間

(10) その他の業務

☐ 時間

TQ_Headline_Professional_Learning_ja-JP

専門的な学習

このセクションでは、「専門的な学習」を、教員としての技能、知識、専門性その他の資質を高めるための活動と定義します。

教員養成課程後に、あなたが受けた専門的な学習についてのみお答えください。

TQ_17_ja-JP

この学校での勤務を始めたとき、何らかの新任研修に参加しましたか。

「新任研修」とは、初任者に対する教職への導入を支援したり、又は経験がある教員に対する新しい赴任校への導入を支援したりする研修のことです。

「新任研修」とは、校長による定期的な監督指導、指導上の負担の軽減、経験豊富な教員による公式な校内指導などを内容とする構造化された「公式な新任研修」、もしくは学校や仕事についての一般的な説明、他の新任教員と行う非公式の共同作業又は新任者用ハンドブックなどを内容とする構造化されていない「非公式な新任研修」のことです。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	はい	いいえ
(1) 公式な新任研修に参加した	☐	☐
(2) 非公式な新任研修に参加した	☐	☐

TQ_18_ADL_ja-JP

この学校での勤務を始めたとき、新任研修には、以下のような内容が含まれていましたか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	はい	いいえ
(1) 対面式の講座やセミナー、ワークショップ	☐	☐
(2) オンライン上の講座やセミナー、ワークショップ	☐	☐
(3) オンライン上の活動（例：バーチャルコミュニティ）	☐	☐
(4) 校長や経験豊富な教員との話合いの設定	☐	☐
(5) 校長や経験豊富な教員による監督指導	☐	☐
(6) 他の教員との交流及び連携	☐	☐

(7) 経験豊富な教員とのチーム・ティーチング

☐ ☐

(8) 日誌、記録の作成

☐ ☐

(9) 指導上の負担の軽減

☐ ☐

(10) 一般的な学校事務の説明

☐ ☐

(11) この学校の教員の見学

☐ ☐

TQ_19_ja-JP

あなたは、現在、学校の公式の取組の一環として校内指導（メンタリング）に参加していますか。

「校内指導（メンタリング)」は、経験のある教員が経験の少ない教員を支援する校内の仕組みのことです。学校内の全教員を対象にすることもあれば、初任者だけを対象にすることもあります。

教育実習中の学生のためのものは含みません。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	はい	いいえ
(1) 現在、自分を支援してくれる校内指導者（メンター）がいる	☐	☐
(2) 他の教員の校内指導者（メンター）を務めている	☐	☐

TQ_20 (LRN)_ja-JP

過去12か月の間に、以下の専門的な学習に参加しましたか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	はい（対面）	はい（バーチャル又はオンライン）	はい（対面とバーチャル/オンライン）	いいえ
(1) 講座やセミナー、ワークショップ	☐	☐	☐	☐
(2) 教員や研究者による研究発表、教育問題に関する議論を行う会議	☐	☐	☐	☐
(3) 公式な資格習得プログラム（例：学位課程）	☐	☐	☐	☐
(4) 自分の指導の参考にするための他の学校の見学	☐	☐	☐	☐
(5) 自分の指導に関連する企業、公的機関又は非政府組織（NGO）の見学	☐	☐	☐	☐
(6) 授業観察の振り返り	☐	☐	☐	☐

(7) 学校の公式な取組であるコーチング（指導）活動

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 専門的な学習を目的とする公式又は非公式の教員ネットワーク

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 自発的な学習活動

☐ ☐ ☐ ☐

(10) その他

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_20 (LRN) (ISCED1)_ja-JP

過去12か月の間に、以下の専門的な学習に参加しましたか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	はい（対面）	はい (バーチャル又はオンライン)	はい (対面とバーチャル/オンライン)	いいえ

(1) 講座やセミナー、ワークショップ

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 教員や研究者による研究発表、教育問題に関する議論を行う会議

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 公式な資格習得プログラム（例：学位課程）

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 自分の指導の参考にするための他の学校の見学

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 授業観察の振り返り

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 学校の公式な取組であるコーチング（指導）活動

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 専門的な学習を目的とする公式又は非公式の教員ネットワーク

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 自発的な学習活動

☐ ☐ ☐ ☐

(9) その他

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_21 (LRN)_ja-JP

過去12か月の間にあなたが参加した専門的な学習には、以下のことが含まれていましたか。

「特別な教育支援を要する生徒」とは、精神的、身体的又は情緒的に困難な条件にあることによって、特別な教育を行う必要性が公式に認定されている生徒を指すものとします。多くの場合、その教育支援のために公的なあるいは民間からの何らかの追加的な（人的、物的、財政的）資源（リソース）が提供されています。

「環境の持続可能性」とは、将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の必要不可欠なニーズを満たすことをいいます。これには、天然資源の保全と地球の生態系の保護も含まれます。気候変動は、環境の持続可能性を脅かす主な要因の一つです。

「AI（人工知能）」とは、従来人間の知能が必要だと考えられてきたことを実行するコンピュータの能力のことです。これには、予測を立てたり、意思決定を提案したり、文章を作成したりする能力も含まれます。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	はい	いいえ
(1) 担当教科等の分野に関する知識や理解	☐	☐

(2) 担当する教科の指導法

☐ ☐

(3) カリキュラムに関する知識

☐ ☐

(4) 生徒の評価方法

☐ ☐

(5) 授業にICT 等（デジタルリソースやツール）を取り入れるための教育スキル

☐ ☐

(6) ICT 等（デジタルリソースやツール）を使用するための技術的スキル

☐ ☐

(7) 指導と学習へのAI（人工知能）の活用

☐ ☐

(8) 学級経営

☐ ☐

(9) 学校の管理運営

☐ ☐

(10) 個に応じた学習手法

☐ ☐

(11) 特別な教育支援を要する生徒への指導

☐ ☐

(12) 多文化又は多言語環境における指導

☐ ☐

(13) 生徒の評価の分析と利用

☐ ☐

(14) 教員と保護者間の協力

☐ ☐

(15) 生徒の社会情緒的学習の支援方法

☐ ☐

(16) 環境の持続可能性に関する知識や理解

☐ ☐

(17) その他

☐ ☐

TQ_21 (ISCED1) (LRN)_ja-JP

過去12か月の間にあなたが参加した専門的な学習には、以下のことが含まれていましたか。

「特別な教育支援を要する児童」とは、精神的、身体的又は情緒的に困難な条件にあることによって、特別な教育を行う必要性が公式に認定されている児童を指すものとします。多くの場合、その教育支援のために公的なあるいは民間からの何らかの追加的な（人的、物的、財政的）資源（リソース）が提供されています。

「環境の持続可能性」とは、将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の必要不可欠なニーズを満たすことをいいます。これには、天然資源の保全と地球の生態系の保護も含まれます。気候変動は、環境の持続可能性を脅かす主な要因の一つです。

「AI（人工知能）」とは、従来人間の知能が必要だと考えられてきたことを実行するコンピュータの能力のことです。これには、予測を立てたり、意思決定を提案したり、文章を作成したりする能力も含まれます。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	はい	いいえ

(1) 担当教科等の分野に関する知識や理解

☐ ☐

(2) 担当する教科の指導法

☐ ☐

(3) カリキュラムに関する知識

☐ ☐

(4) 児童の評価方法

☐ ☐

(5) 授業にICT 等（デジタルリソースやツール）を取り入れるための教育スキル

☐ ☐

(6) ICT 等（デジタルリソースやツール）を使用するための技術的スキル

☐ ☐

(7) 指導と学習へのAI（人工知能）の活用

☐ ☐

(8) 学級経営

☐ ☐

(9) 学校の管理運営

☐ ☐

(10) 個に応じた学習手法

☐ ☐

(11) 特別な教育支援を要する児童への指導

☐ ☐

(12) 多文化又は多言語環境における指導

☐ ☐

(13) 児童の評価の分析と利用

☐ ☐

(14) 教員と保護者間の協力

☐ ☐

(15) 児童の社会情緒的学習の支援方法

☐ ☐

(16) 環境の持続可能性に関する知識や理解

☐ ☐

(17) 遊びや子供同士の関わり

☐ ☐

(18) 幼稚園・保育所・認定こども園から小学校（義務教育学校前期課程を含む）への子供の接続

☐ ☐

(19) その他

☐ ☐

TQ_22 (LRN)_ja-JP

過去12か月の間にあなたが参加した専門的な学習活動は、あなたの指導に全体的にどの程度の良い影響がありましたか。

当てはまるものを一つ選択してください。

☐ 全くなかった

☐ いくらかあった

☐ かなりあった

☐ 非常にあった

TQ_23 (Version C) (LRN)_ja-JP

以下の専門的な学習の特徴は、あなたにとってどの程度重要ですか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く重要でない	いくらか重要	かなり重要	非常に重要
(1) これまでの知識が深まる	☐	☐	☐	☐
(2) 個人的な成長のニーズに合っている	☐	☐	☐	☐
(3) 研修の構成が一貫している	☐	☐	☐	☐
(4) 自分の担当科目の指導上必要な内容に重点が置かれている	☐	☐	☐	☐
(5) 主体的な学びの機会がある	☐	☐	☐	☐

(6) 考えを共有し、協力する機会がある

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 自分の授業で新しいアイデアや知識を実践し、導入する機会がある

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 自分の指導について振り返る機会がある

☐ ☐ ☐ ☐

(9) フォローアップ活動がある

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 自分の学校のニーズに対応している

☐ ☐ ☐ ☐

(11) この学校の教員のほとんどが参加する

☐ ☐ ☐ ☐

(12) 長期間にわたって実施される（例：数週間以上）

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_24 (LRN)_ja-JP

以下の各領域について、それぞれどの程度、専門的な学習活動の必要性を現在感じていますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全くなし	あまりなし	ある程度	高い
(1) 担当教科等の分野に関する知識や理解	☐	☐	☐	☐
(2) 担当する教科の指導法	☐	☐	☐	☐
(3) カリキュラムに関する知識	☐	☐	☐	☐
(4) 生徒の評価方法	☐	☐	☐	☐
(5) 授業にICT 等（デジタルリソースやツール）を取り入れるための教育スキル	☐	☐	☐	☐

(6) ICT 等（デジタルリソースやツール）を使用するための技術的スキル

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 指導と学習にAI（人工知能）を活用する技能

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 学級経営

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 学校の管理運営

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 個に応じた学習手法

☐ ☐ ☐ ☐

(11) 特別な教育支援を要する生徒への指導

☐ ☐ ☐ ☐

(12) 多文化又は多言語環境における指導

☐ ☐ ☐ ☐

(13) 生徒の評価の分析と利用

☐ ☐ ☐ ☐

(14) 教員と保護者間の協力

☐ ☐ ☐ ☐

(15) 生徒の社会情緒的学習の支援方法

☐ ☐ ☐ ☐

(16) 環境の持続可能性に関する知識や理解

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_24 (ISCED1) (LRN)_ja-JP

以下の各領域について、それぞれどの程度、専門的な学習活動の必要性を現在感じていますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全くなし	あまりなし	ある程度	高い
(1) 担当教科等の分野に関する知識や理解	☐	☐	☐	☐
(2) 担当する教科の指導法	☐	☐	☐	☐

(3) カリキュラムに関する知識

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 児童の評価方法

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 授業にICT 等（デジタルリソースやツール）を取り入れるための教育スキル

☐ ☐ ☐ ☐

(6) ICT 等（デジタルリソースやツール）を使用するための技術的スキル

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 指導と学習にAI（人工知能）を活用する技能

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 学級経営

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 学校の管理運営

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 個に応じた学習手法

☐ ☐ ☐ ☐

(11) 特別な教育支援を要する児童への指導

☐ ☐ ☐ ☐

(12) 多文化又は多言語環境における指導

☐ ☐ ☐ ☐

(13) 児童の評価の分析と利用

☐ ☐ ☐ ☐

(14) 教員と保護者間の協力

☐ ☐ ☐ ☐

(15) 児童の社会情緒的学習の支援方法

☐ ☐ ☐ ☐

(16) 環境の持続可能性に関する知識や理解

☐ ☐ ☐ ☐

(17) 遊びや子供同士の関わり

☐ ☐ ☐ ☐

(18) 幼稚園・保育所・認定こども園から小学校（義務教育学校前期課程を含む）への子供の接続

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_25 (LRN)_ja-JP

専門的な学習にあなたが参加する際、現在、以下のことがどの程度妨げになっていると思いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く妨げになっていない	妨げになっていない	妨げになっている	非常に妨げになっている
(1) 参加に必要な要件を満たしていない（例：資格、経験、勤務年数）	☐	☐	☐	☐
(2) 専門的な学習は費用が高すぎる	☐	☐	☐	☐
(3) 雇用者からの支援がない	☐	☐	☐	☐
(4) 専門的な学習の日程が自分の仕事のスケジュールと合わない	☐	☐	☐	☐

(5) 他にやるべきことややらなくてはならないことがあるため、時間が割けない

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 自分に適した専門的な学習がない

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 専門的な学習への参加に対するインセンティブ（例：奨励金）がない

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 専門的な学習は、遠いので利用できない

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 専門的な学習は、デジタルリソースが十分でないので利用できない

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_Headline_Teaching_in_General_ja-JP

指導全般について

TQ_26_ja-JP

この学校で以下のことは、平均してどのくらいの頻度で行われていますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	行っていない	年に1回以下	年に2〜4回	年に5〜10回	月に1〜3回	週に1回以上
(1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
(5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

(1) 学級内でチーム・ティーチングを行う

(2) 他の教員の授業を見学し、感想を述べる

(3) 学級や学年をまたいだ合同学習を行う(例：プロジェクト)

(4) 同僚と教材をやりとりする

(5) 特定の児童／生徒の学習の向上について議論する

(6) 他の教員と共同して、児童／生徒の学習の進捗状況を評価する基準を定める

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(7) 専門性を高めるための勉強会に参加する

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(8) 児童／生徒の学習活動全般を充実させるために保護者と協力する

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

TQ_27_ja-JP

あなたの指導において、以下のことは、どの程度できていますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全くできていない	いくらかできている	かなりできている	非常によくできている
(1) 生徒に勉強ができると自信をもたせる	☐	☐	☐	☐

(2) 生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 生徒のために発問を工夫する

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 学級内の秩序を乱す行動を抑える

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 勉強にあまり関心を示さない生徒に動機付けをする

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 自分が生徒にどのような態度・行動を期待しているか明確に示す

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 生徒の批判的思考を促す

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 生徒を教室のきまりに従わせる

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 秩序を乱す、又は騒々しい生徒を落ち着かせる

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 多様な評価方法を活用する

☐ ☐ ☐ ☐

(11) 生徒がわからないときには、別の説明の仕方を工夫する

☐ ☐ ☐ ☐

(12) 様々な指導方法を用いて授業を行う

☐ ☐ ☐ ☐

(13) ICT等（デジタルリソースやツール）の利用によって生徒の学習を支援する

☐ ☐ ☐ ☐

(14) 全ての生徒の成長を支援する

☐ ☐ ☐ ☐

(15) 生徒間の学力格差を縮める

☐ ☐ ☐ ☐

(16) 生徒の社会情緒的学習を支援する

☐ ☐ ☐ ☐

(17) 環境の持続可能性に関する生徒の学習を支援する

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_27 (ISCED1)_ja-JP

あなたの指導において、以下のことは、どの程度できていますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全くできていない	いくらかできている	かなりできている	非常によくできている
(1) 児童に勉強ができると自信をもたせる	☐	☐	☐	☐
(2) 児童が学習の価値を見いだせるよう手助けする	☐	☐	☐	☐
(3) 児童のために発問を工夫する	☐	☐	☐	☐
(4) 学級内の秩序を乱す行動を抑える	☐	☐	☐	☐
(5) 勉強にあまり関心を示さない児童に動機付けをする	☐	☐	☐	☐

(6) 自分が児童にどのような態度・行動を期待しているか明確に示す

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 児童の批判的思考を促す

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 児童を教室のきまりに従わせる

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 秩序を乱す、又は騒々しい児童を落ち着かせる

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 多様な評価方法を活用する

☐ ☐ ☐ ☐

(11) 児童がわからないときには、別の説明の仕方を工夫する

☐ ☐ ☐ ☐

(12) 様々な指導方法を用いて授業を行う

☐ ☐ ☐ ☐

(13) ICT等（デジタルリソースやツール）の利用によって児童の学習を支援する

☐ ☐ ☐ ☐

(14) 全ての児童の成長を支援する

☐ ☐ ☐ ☐

(15) 児童間の学力格差を縮める

☐ ☐ ☐ ☐

(16) 児童の社会情緒的学習を支援する

☐ ☐ ☐ ☐

(17) 環境の持続可能性に関する児童の学習を支援する

☐ ☐ ☐ ☐

(18) 子供の小学校（義務教育学校前期課程を含む）への就学準備を支援する

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_28 (Version A)_ja-JP

あなたの指導において、以下のことは、どの程度できますか。

この質問では、外的な規制（時間や資源、機会がないことや制限的な規則など）にかかわらず、自分の能力に対するあなたの考えについてお尋ねします。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く できない	いくらか できる	かなり できる	非常に よく できる
(1) 指導を児童／生徒の文化的な多様性に適応させる	☐	☐	☐	☐
(2) 移民の背景をもつ児童／生徒ともたない児童／生徒が共に活動できるようにする	☐	☐	☐	☐
(3) 児童／生徒間の文化的な違いへの意識を高める	☐	☐	☐	☐
(4) 児童／生徒間の民族に対する固定観念を減らす	☐	☐	☐	☐
(5) 異なる文化的又は民族的な背景をもつ児童／生徒が共に活動できるようにする	☐	☐	☐	☐

(6) カリキュラムが文化に関する否定的な固定観念を助長していないか、批判的に検討する

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 多様な文化的背景をもつ児童／生徒にとって馴染みのある例を用いる

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_29_ADL_ja-JP

通常、あなたが読み、書き、コミュニケーションをする言語はどれですか。

適切な選択肢が複数ある場合は、その全てを選択してください。

☐ 日本語

☐ その他　具体的にお答えください

TQ_30 (Version A)_ja-JP

知能と学習に関する以下のことについて、あなたの考えはどの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1)	☐	☐	☐	☐
(2)	☐	☐	☐	☐
(3)	☐	☐	☐	☐

(1) 誰もがある程度の知能をもっており、それを変えるために本当にできることは誰にもない

(2) 人の知能は、その人自身ではあまり変えることのできないものだ

(3) 人は新しいことを学ぶことはできるが、基本となる知能を本当に変えることはできない

TQ_31_ja-JP

教員としての仕事において、以下のことはどの程度できますか。

この質問では、外的な規制（時間や資源、機会がないことや制限的な規則など）にかかわらず、自分の能力に対するあなたの考えについてお尋ねします。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く できない	いくらか できる	かなり できる	非常に よく できる
(1) 授業で特別な教育支援を要する児童／生徒を指導するために他の専門家や職員（例：支援員、その他の教員）と協力する	☐	☐	☐	☐
(2) 保護者が特別な教育支援を要する自身の子の学校の活動に参加する	☐	☐	☐	☐
(3) 特別な教育支援を要する児童／生徒のための教育計画作成において他の専門家（例：専門教員、言語聴覚士）と連携する	☐	☐	☐	☐

(4) 特別な教育支援を要する児童／生徒のインクルーシブ教育に関連する法律や施策についてあまり知らない人に情報を提供する

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 特別な教育支援を要する児童／生徒に対応する学習課題にする

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 全ての特別な教育支援を要する児童／生徒の評価ができるように、国、都道府県、市町村レベルの評価を用いる

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_33_ja-JP

この学校では、あなたは、以下の情報に基づくフィードバックをどなたから受けていますか。

「フィードバック」とは、あなたの仕事に対する何らかの関与（例：授業観察、指導計画や児童／生徒の成績に関する議論）に基づいて行われ、あなたの指導に関するコミュニケーションとして、広く定義します。 フィードバックは、

非公式な話合い、あるいは公的で組織的な手法のいずれによっても行われる場合があります。

「外部の個人又は機関」とは、例えば、国・地方自治体の関係者、その他の学校外の者を指します。

それぞれについて、当てはまるもの全てを選択してください。

	外部の個人又は機関	校長又は学校運営チームのメンバー	学校運営チーム以外の校内の同僚	受けたことがない
(1) 授業観察	☐	☐	☐	☐
(2) 私の指導に関する児童／生徒へのアンケートの結果	☐	☐	☐	☐
(3) 教科に関する知識についての評価	☐	☐	☐	☐
(4) 指導している児童／生徒の外部テスト（例：全国学力調査）の結果	☐	☐	☐	☐
(5) 学校内と学級内での児童／生徒の成果(例：成績、プロジェクトの成果、テストの点数)	☐	☐	☐	☐

(6) あなたの自己評価(例：ポートフォリオ評価の提出、ビデオを使った自身の授業分析)

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_33_Skip_ja-JP

全ての選択肢について、「受けたことがない」と回答した場合　→　次の質問は答えずにお進みください。

TQ_34_ja-JP

過去12か月の間に受けたフィードバックは、あなたの指導に関する以下のような内容について、良い影響がありましたか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	はい	いいえ
(1) 担当教科等の分野に関する知識や理解	☐	☐

(2) 担当教科等の指導法に関する能力

☐ ☐

(3) 児童／生徒の学習改善につながる児童／生徒評価の利用

☐ ☐

(4) 学級経営

☐ ☐

(5) 特別な教育支援を要する児童／生徒への指導方法

☐ ☐

(6) 多文化又は多言語環境における指導方法

☐ ☐

(7) ICT等（デジタルリソースやツール）を用いた指導方法

☐ ☐

(8) 児童／生徒の社会情緒的学習の支援方法

☐ ☐

(9) 児童／生徒を環境の持続可能性に関する事柄に関わらせる方法

☐ ☐

TQ_35_ja-JP

あなたの指導について、以下のことは、どの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1)	☐	☐	☐	☐
(2)	☐	☐	☐	☐
(3)	☐	☐	☐	☐

(1) 児童／生徒に対して、社会情緒的能力に関する指導を行うことは苦にならない

(2) 児童／生徒の社会情緒面に対応することは当然のことだ

(3) 授業時間外にも社会情緒的学習に関する指導をすることは、自分の通常の指導実践の一つだ

TQ_37_ja-JP

ICT等（デジタルリソースやツール）に関して、以下のことはどの程度できますか。

この質問では、外的な規制（時間や資源、機会がないことや制限的な規則など）にかかわらず、自分の能力に対するあなたの考えについてお尋ねします。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く できない	いくらか できる	かなり できる	非常に よく できる
(1) 担当する教科を支援するためのICT等（デジタルリソースやツール）を把握する	☐	☐	☐	☐
(2) 児童／生徒に様々な方法で事柄を示すためにICT等（デジタルリソースやツール）を使用する	☐	☐	☐	☐
(3) 児童／生徒の学習を向上させるICT等(デジタルリソースやツール)を選択する	☐	☐	☐	☐
(4) 様々な教育活動にICT等（デジタルリソースやツール）をうまく活用する				

☐	☐	☐	☐
(5) ICT等（デジタルリソースやツール）の使用に伴う潜在的リスクを児童／生徒に説明する			
☐	☐	☐	☐
(6) ICT等（デジタルリソースやツール）を利用して保護者とコミュニケーションを行う			
☐	☐	☐	☐
(7) 初めて使う技術の使い方を学ぶ			
☐	☐	☐	☐

TQ_38_ja-JP

児童／生徒の学習のためにICT等（デジタルリソースやツール）を使用することについて、以下のことはどの程度当てはまると思いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる

(1) ICT等（デジタルリソースやツール）の使用は、学習に対する児童／生徒の関心を高めるのに役立つ

☐ ☐ ☐ ☐

(2) ICT等（デジタルリソースやツール）の使用は、児童／生徒が自身の課題の計画を立て、進捗管理をする力をつけるのに役立つ

☐ ☐ ☐ ☐

(3) ICT等（デジタルリソースやツール）の使用は、児童／生徒の学業成績向上に役立つ

☐ ☐ ☐ ☐

(4) ICT等（デジタルリソースやツール）の使用は、児童／生徒の学習への集中を妨げる

☐ ☐ ☐ ☐

(5) ICT等（デジタルリソースやツール）の使用は、児童／生徒間の対面でのコミュニケーション量を抑制する

☐ ☐ ☐ ☐

(6) ICT等（デジタルリソースやツール）の頻繁な使用は、児童／生徒のウェルビーイング（幸せ）に悪影響を与える

☐ ☐ ☐ ☐

(7) ICT等（デジタルリソースやツール）を使用した結果、児童／生徒がインターンネット上のコンテンツを自分の作品として提出してくる

☐ ☐ ☐ ☐

(8) ICT等（デジタルリソースやツール）の使用は、児童／生徒が課題について効率的に協力するのに役立つ

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_38_a_ja-JP

児童／生徒の学習のためにAI（人工知能）を使うことについて、以下のことはどの程度当てはまると思いますか。

「AI（人工知能）」とは、従来人間の知能が必要だと考えられてきたことを実行するコンピュータの能力のことです。これには、予測を立てたり、意思決定を提案したり、文章を作成したりする能力も含まれます。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる	わからない

(1) AI（人工知能）は、教員が授業計画を作成したり、改善したりするのに役立つ

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(2) AI（人工知能）により、教員は教科書・教材を児童／生徒の能力に合わせて調整できるようになる

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(3) AI（人工知能）は、教員が児童／生徒を個別にサポートするのを支援する

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(4) AI（人工知能）は、特定の支援を必要とする児童／生徒（多言語を話す学習者や特別な教育支援を要する生徒など）を支援する

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(5) AI（人工知能）は、教員が事務的業務を自動化するのに役立つ

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(6) AI（人工知能）により、児童／生徒は他人の成果物を自分のものと偽ることができるようになる

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(7) AI（人工知能）は、不適切又は正しくないかもしれない提案をする

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(8) AI（人工知能）は、児童／生徒の誤った認識を強める偏った見方を増大させる

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(9) AI（人工知能）は、児童／生徒のデータのプライバシーとセキュリティを危険にさらす

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(10) AI（人工知能）は、教員が児童／生徒に用いる指導法として不適切なものを提案する

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

TQ_39_a_ja-JP

過去12か月の間に、AI（人工知能）を授業で、又は児童／生徒が学習しやすくするために使いましたか。

当てはまるものを一つ選択してください。

- [ ] はい
- [ ] いいえ

TQ_40_a_ja-JP

AI（人工知能）を授業で、又は児童／生徒が学習しやすくするために以下のように使ったことがありますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	はい	いいえ

(1) 児童／生徒の課題を評価又は採点する

☐ ☐

(2) ある学習内容について効果的に学び、まとめる

☐ ☐

(3) 授業計画や活動を作成、考案する

☐ ☐

(4) 特別な教育支援を要する児童／生徒を支援する

☐ ☐

(5) 児童／生徒の学習ニーズに応じて教材の難易度を自動的に調整する

☐ ☐

(6) 児童／生徒へのフィードバックや保護者への連絡用に文章を作成する

☐ ☐

(7) 児童／生徒の出席状況や成績に関するデータを確認する

☐ ☐

(8) 児童／生徒が実生活の場面で新しい力を実践できるようにする（例：外国語学習、文章創作、プログラミング言語を用いたソース記述、問題解決）

☐ ☐

(9) その他

☐ ☐

TQ_41_a_ja-JP

あなたがAI（人工知能）を授業で、又は児童／生徒が学習しやすくするために使うことをしない理由は以下のことですか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

はい　　いいえ

(1) 私の学校には、AI（人工知能）を使うためのICT等（デジタルリソースやツール）の施設設備が整っていない

☐ ☐

(2) 私にはAI（人工知能）を使って指導する知識や技能がない

☐ ☐

(3) 私は、AI（人工知能）を教育に使うべきではないと思っている

☐ ☐

(4) 私の学校では、教育にAI（人工知能）を使うことは認められていない

☐ ☐

(5) 新しいテクノロジーを指導に取り入れることに、圧倒的な負担を感じている

☐ ☐

(6) その他

☐ ☐

TQ_Headline_Education_and_Sustainability_ja-JP

教育と環境の持続可能性

このセクションでは、気候変動に重点を置きながら、環境の持続可能性に関してお尋ねします。

「環境の持続可能性」とは、将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の必要不可欠なニーズを満たすことをいいます。これには、天然資源の保全と地球の生態系の保護も含まれます。気候変動は、環境の持続可能性を脅かす主な要因の一つです。

「気候変動」は、地球の温暖化を含み、海面上昇、氷河の縮小、加速する極氷の溶解、花や植物の開花期の変化など、より広い意味での変動と、それによる環境、経済、社会への影響を指します。

TQ_39_ADL_ja-JP

環境の持続可能性に関して、以下のことはどの程度できますか。

この質問では、外的な規制（時間や資源、機会がないことや制限的な規則など）にかかわらず、自分の能力に対するあなたの考えについてお尋ねします。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く できない	いくらか できる	かなり できる	非常に よく できる

(1) 環境の持続可能性についての指導を改善するために、この学校の他の教員と協力する

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 環境の持続可能性について問題解決型の指導を行っていけるように専門家（例：科学者、NGO等の職員）と協力する

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 児童／生徒が環境によい行動を取ることができるようにする（例：消費量削減、倫理的消費（人や社会・環境に配慮した消費行動）、リユース、リサイクル）

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 環境保護のための活動に児童／生徒が参加できるようにする（例：新聞への投書、ソーシャルメディアへの投稿、署名活動、同級生や両親との対話）

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 環境の持続可能性の問題について児童／生徒が誤解や誤った情報を見分けることができるように支援する

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 地球の環境の将来についての児童／生徒の不安に耳を傾ける

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 児童／生徒が気候変動に関する知識を行動に移せるよう支援する

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_40_ja-JP

気候変動について、以下のことはどの程度当てはまると思いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1) 気候変動に関する児童／生徒の質問に答える力に自信がある	☐	☐	☐	☐
(2) 気候変動に関して児童／生徒に指導するために必要なもの（リソース）をもっている	☐	☐	☐	☐
(3) 気候変動に関する指導について、保護者から苦情が出ないか心配だ	☐	☐	☐	☐
(4) 児童／生徒に対して、気候変動に関する指導を行うことは苦にならない	☐	☐	☐	☐

(5) 児童／生徒が気候変動について行動を起こせるようにすることを学校運営チームは教員に促している

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_41_ja-JP

気候変動とその原因や環境・経済・社会への影響について、平均して、あなたの指導に最も当てはまるものは、以下のうちどれですか。

当てはまるものを一つ選択してください。

☐ 気候変動について自分の授業では指導しない

☐ 気候変動について自分の授業で話すことがある

☐ 気候変動について1～2回授業を行う

☐ 気候変動について1単元（授業3～4回以上）指導する

☐ 気候変動を扱う特別授業をする

TQ_42_ja-JP

あなたが気候変動について指導しない理由は以下のことですか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	はい	いいえ
(1) 担当教科とは関係がない	☐	☐
(2) 児童／生徒の年齢では早すぎる	☐	☐
(3) 十分な知識がない	☐	☐
(4) 指導に必要な教材をもっていない	☐	☐
(5) 気候変動を信じていない	☐	☐
(6) 学校運営チームが指導を認めていない	☐	☐

(7) 気候変動について児童／生徒は既に学校で学んでいる	☐	☐
(8) カリキュラムの融通が利かない	☐	☐
(9) 評価に気候変動は含まれない	☐	☐
(10) その他	☐	☐

TQ_43_ja-JP

気候変動とその原因や環境・経済・社会への影響について、どの程度児童／生徒と授業時間外に話をしていますか。

当てはまるものを一つ選択してください。

☐ 全く話をしていない

☐ いくらか話をしている

- [ ] かなり話をしている
- [ ] 非常によく話をしている

TQ_44_ja-JP

あなた個人として、気候変動にどの程度関心がありますか。

当てはまるものを一つ選択してください。

- [ ] 全くない
- [ ] いくらかある
- [ ] かなりある
- [ ] 非常にある

TQ_45_ja-JP

世界の気候やここ数十年間に気候が変化しているという考え方については多くの議論が行われています。 以下のうち、あなたの意見に最も近いのはどれですか。

当てはまるものを一つ選択してください。

- [ ] 世界の気候は変化していない
- [ ] 世界の気候が変化しているのは、自然現象によるところが多い
- [ ] 世界の気候が変化している原因は、自然現象と人の活動がおよそ半々である
- [ ] 世界の気候が変化しているのは、人の活動によるところが多い
- [ ] わからない

TQ_Headline_Teaching_in_Class_ja-JP

対象学級における指導について

以下では、あなたの指導実践について詳しくお尋ねします。この質問紙では、あなたの指導実践の全体を取り上げることはできません。そこで、ここでは事例的アプローチを用いることとし、特定の学級における指導に焦点を当てることとします。

以下の質問では、あなたが教えている特定の学級についてお尋ねします。 回答していただきたい特定の学級とは、先週の火曜日の午前11時以降、あなたが最初に教えた中学校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程を含む）の学級とします。 もし、あなたがその日に中学校（義務教育学校後期課程、中等

教育学校前期課程を含む）の学級を教えていない場合には、その翌日以降の中学校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程を含む）の学級が回答対象となります。

以下の質問では、これを「対象学級」と表現することとします。

TQ_46_ja-JP

対象学級には、現在何人の児童／生徒が在籍していますか。

数字を入力してください。

☐ 人

TQ_47_ja-JP

対象学級の構成についてお尋ねします。 以下のような児童／生徒の割合を推定してください。

この質問は、児童／生徒の背景についてのあなた個人としての理解をお尋ねするものです。 およその推定値で回答していただいて結構です。

一人の児童／生徒が複数の項目に当てはまることがあり得ます。

「特別な教育支援を要する児童／生徒」とは、精神的、身体的又は情緒的に困難な条件にあることによって、特別な教育を行う必要性が公式に認定されている児童／生徒を指すものとします。 多くの場合、その教育支援のために公的なあるいは民間からの何らかの追加的な（人的、物的、財政的）資源（リソース）が提供されています。

「社会経済的に困難な家庭環境」とは、住居や栄養、医療などの生活上必要な基礎的な条件を欠いている家庭環境のことをいいます。

「少数民族又は先住民族」とは、地理的な場所や先祖の起源、文化的伝統、信仰、社会的規範、共通の遺産や言語、移民としての地位や起源となる民族に相当するような共通の特徴や過去の歴史の結果として存在する集団のことをいいます。

「移民の児童／生徒」とは、国外で生まれた人を指します。 「移民の背景をもつ児童／生徒」とは国外で生まれた親をもつ児童／生徒のことをいいます。

「難民」とは、法的な地位にかかわらず、武力闘争、政治的抑圧、宗教迫害、自然災害などから身を守るために、国外へ避難した人をいいます。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	なし	1% ～ 10%	11% ～ 30%	31% ～ 60%	61% ～ 90%	91% ～ 99%	全員
(1) 指導言語の理解が困難な児童／生徒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

(2) 母語が日本語でない児童／生徒

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(3) 学業成績が低い児童／生徒

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(4) 学業に関して特別な才能のある児童／生徒

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(5) 特別な教育支援を要する児童／生徒

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(6) 問題行動を起こす児童／生徒

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(7) 社会経済的に困難な家庭環境にある児童／生徒

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(8) 少数民族又は先住民族の児童／生徒

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(9) 男子児童／生徒

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(10) 移民の児童／生徒、又は移民の背景をもつ児童／生徒（難民を除く）

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

(11) 難民の児童／生徒

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

TQ_48_ADL_ja-JP

対象学級での授業は、主に以下のどの教科等の分野に分類されますか。

当てはまるものを一つ選択してください。

☐ 国語

☐ 数学

☐ 理科

☐ 社会

☐ 外国語

☐ 技術

☐ 音楽・美術

☐ 保健体育

☐ 道徳

☐ 家庭

- [ ] 総合的な学習の時間
- [ ] その他

TQ_48 (ISCED1)_ADL_ja-JP

対象学級での授業は、主に以下のどの教科等の分野に分類されますか。

対象学級での授業は、複数の教科等の分野に分類されることがあります。 適切な選択肢が複数ある場合は、その全てを選択してください。

- [ ] 国語
- [ ] 算数
- [ ] 理科
- [ ] 社会
- [ ] 外国語
- [ ] 音楽・図工
- [ ] 体育
- [ ] 道徳
- [ ] 家庭

- [ ] 総合的な学習の時間
- [ ] 生活
- [ ] その他

TQ_49_ja-JP

対象学級について先に回答した教科等の分野は、あなたが受けた公的な教育や研修に含まれていましたか。

当てはまるものを一つ選択してください。

- [ ] はい
- [ ] いくらか
- [ ] いいえ

TQ_50_ja-JP

対象学級において、通常、以下のことに授業時間の何パーセントを費やしていますか。

各活動の割合を数字で入力してください。 該当しない場合は 0 (ゼロ)と入力してください。

回答を合計して100%になるようにしてください。

(1) 事務的業務 (出欠の記録、学校からのお知らせの配付など)

[ ] %

(2) 学級の秩序・規律の維持

[ ] %

(3) 学習指導

[ ] %

_____

100%（合計）

TQ_52_ja-JP

対象学級における指導について、以下のことをどのくらいの頻度で行いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	なし又はほとんどなし	時々	しばしば	常に
(1) 前回の授業内容のまとめを示す	☐	☐	☐	☐
(2) 授業又は単元の始めに目標を設定する	☐	☐	☐	☐
(3) 児童／生徒に何を学んで欲しいかを説明する	☐	☐	☐	☐
(4) 新しい学習内容と過去の学習内容がどのように関連しているか説明する	☐	☐	☐	☐
(5) 明らかな解決法が存在しない課題を提示する	☐	☐	☐	☐
(6) 批判的に考える必要がある課題を与える	☐	☐	☐	☐
(7) 児童／生徒を少人数のグループに分け、問題や課題に対する合同の解決法を出させる	☐	☐	☐	☐

(8) 複雑な課題を解く際に、その手順を各自で選択するよう児童／生徒に指示する

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 教室でのルールを守るよう児童／生徒に伝える

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 自分の話を聞くよう児童／生徒に伝える

☐ ☐ ☐ ☐

(11) 規律を乱している児童／生徒を静かにさせる

☐ ☐ ☐ ☐

(12) 授業の始めに、すぐに静かにするよう伝える

☐ ☐ ☐ ☐

(13) 新しい知識が役立つことを示すため、日常生活や仕事での問題を引き合いに出す

☐ ☐ ☐ ☐

(14) 完成までに少なくとも一週間を必要とする課題を児童／生徒に与える

☐ ☐ ☐ ☐

(15) 他の児童／生徒の主張に対して、質問や意見を言うよう児童／生徒を促す

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_53_ja-JP

対象学級における授業について、以下のことをどのくらいの頻度で行いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	なし又はほとんどなし	時々	しばしば	常に
(1) 直接指導しながら情報を提示するためにICT等（デジタルリソースやツール）を使用する	☐	☐	☐	☐
(2) 紙の教材をデジタル教材にかえる	☐	☐	☐	☐

(3) 児童／生徒の課題に対してデジタルフィードバックを行う

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 教室での授業用にインターネットから授業計画をダウンロードする

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 他の学級や学校、学校外の専門家と連携できるようにICT等（デジタルリソースやツール）を使用する

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 指導の管理面に対応するためにICT等（デジタルリソースやツール）を使用する（例：児童／生徒の成績管理、児童／生徒の課題の割当や回収）

☐ ☐ ☐ ☐

(7) ICT等（デジタルリソースやツール）を使用して、児童／生徒間の連携を支援する

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 児童／生徒に個別の学習コースを提供するICT等（デジタルリソースやツール）を使用する

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 児童／生徒の学習評価をするためにICT等（デジタルリソースやツール）を使用する

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 児童／生徒が自身の学習の計画を立て、進捗管理できるICT等（デジタルリソースやツール）を与える

☐ ☐ ☐ ☐

(11) ICT等（デジタルリソースやツール）を使用してのみ解決できる課題を児童／生徒に与える

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_54_ja-JP

対象学級において、以下の児童／生徒の学習評価方法をどのくらいの頻度で使いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	なし又はほとんどなし	時々	しばしば	常に
(1) 一単元又は一区分の授業が終わるときに、評価を実施する	☐	☐	☐	☐
(2) 児童／生徒の相対評価の成績を伝えるために評定やスマイルマークなどをつける	☐	☐	☐	☐

(3) 改善すべき点を、口頭又は文書でフィードバックする

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 児童／生徒に学習の進捗状況を自己評価するよう求める

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 児童／生徒が特定の課題に取り組む様子を観察し、必要なフィードバックを即座に行う

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 児童／生徒が提示された教材を学習したかを確認するために評価を利用する

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_55_ja-JP

対象学級では、以下の状況がどの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

全く当てはまらない	いくらか当てはまる	かなり当てはまる	非常によく当てはまる

(1) とても騒々しく、秩序が乱れている

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 児童／生徒が静かになるまでかなり長い時間待たなければならない

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 授業が始まっても、多くの児童／生徒がなかなか取りかかろうとしない

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 児童／生徒が授業を妨害するため、多くの時間が失われてしまう

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_56_ja-JP

対象学級における指導について、以下のことをどのくらいの頻度で行いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

なし又はほとんどなし	時々	しばしば	常に

(1) 授業計画を立てるときには、児童／生徒のこれまでの知識と必要なことを考える

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 個に応じた学習ができるよう、児童／生徒に異なる教材を紹介する

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 児童／生徒がある学習内容や課題の理解が難しかった場合、説明の仕方を変更する

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 児童／生徒の必要性に合わせて指導法を変える

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 児童／生徒が内容を理解しているか確認するために、難易度が異なる質問をする

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_57_ja-JP

対象学級における指導について、以下のことをどのくらいの頻度で行いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	なし又はほとんどなし	時々	しばしば	常に
(1) ある手順や技能の一連の流れを演習させるために児童／生徒に複数の例を振り返らせる	☐	☐	☐	☐
(2) 難易度が徐々に上がっていくように演習課題を選んでいる	☐	☐	☐	☐
(3) ある手順や技能を演習する際に起こり得る問題に対して児童／生徒を備えさせる	☐	☐	☐	☐
(4) 全児童／生徒が内容を理解していることが確認されるまで、類似の課題を児童／生徒に演習させる	☐	☐	☐	☐

TQ_58_ja-JP

対象学級での計画と指導において、あなたには以下の点についてどの程度裁量権がありますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全くない	少ししかない	十分ある	完全にある
(1) カリキュラムの臨機応変な実施	☐	☐	☐	☐
(2) 指導法や指導方針の選択	☐	☐	☐	☐
(3) 評価活動の選択	☐	☐	☐	☐
(4) 学習目標の選択	☐	☐	☐	☐
(5) 授業の計画と準備	☐	☐	☐	☐

TQ_59_ADL_ja-JP

教えるということは、しばしば相反する目標をもつ複雑な活動です。対象学級でこの一週間に担当した授業では、どの程度、以下のことはできましたか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全くできなかった	いくらかできた	かなりできた	非常によくできた
(1) 内容をわかりやすく示す	☐	☐	☐	☐
(2) 児童／生徒にとって少し難しい課題に挑ませる	☐	☐	☐	☐
(3) 児童／生徒の学習を支援するようなフィードバックを行う	☐	☐	☐	☐

(4) 学習したことを演習する機会を児童／生徒に与える

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 児童／生徒の異なる必要性に合わせて指導を変える

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 児童／生徒が自分の感情、考え、行動を管理（マネジメント）できるように支援する

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 児童／生徒の行動を管理（マネジメント）する

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_60_ja-JP

あなたが、現在、この対象学級で質の高い指導を行う上で、以下のことがどの程度妨げになっていますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

全く妨げになっていない	いくらか妨げになっている	かなり妨げになっている	非常に妨げになっている

(1) 照明の調節ができない

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 音響が悪い（聞きにくい）

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 暖房の調節ができない

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 空気の質が悪い

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 冷房の調節ができない

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 自然（例：木、植物等）が近くにない

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_61_ja-JP

対象学級において、以下のことはどの程度できますか。

この質問では、外的な規制（時間や資源、機会がないことや制限的な規則など）にかかわらず、自分の能力に対するあなたの考えについてお尋ねします。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く できない	いくらか できる	かなり できる	非常に よく できる
(1) 児童／生徒の気持ちに気を配る	☐	☐	☐	☐
(2) 児童／生徒に温かく接する	☐	☐	☐	☐
(3) 児童／生徒の問題に関心をもつ	☐	☐	☐	☐

(4) 児童／生徒に共感する

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 児童／生徒の社会情緒的問題に関心をもつ

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_62_ja-JP

対象学級において、児童／生徒に以下の力を身に付けさせる指導をどのくらいの頻度で行いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	なし又はほとんどなし	時々	しばしば	常に
(1) 自分の感情、考え、行動を理解する力	☐	☐	☐	☐
(2) 自分の感情、考え、行動を管理（マネジメント）する力	☐	☐	☐	☐

(3) 他者の視点を理解する力

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 他者に共感する力

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 他者と健全な関係を築き、維持する力

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 個人的な行動について思いやりのある建設的な選択をする力

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_Headline_Scenarios_ja-JP

以下の質問は、対象学級で起こる可能性のある場面を想定したものです。それぞれの場面について、三つの取り得る対応を示しています。それぞれの場面の状況において、自分がこのような対応を取る可能性について考えてください。個々の対応についてひとつひとつ独立して考えてください。以下の質問には正解も不正解もありません。

TQ_64 (M)_ja-JP

あなたは対象学級で、ある男子児童／生徒を除き、他の全ての児童／生徒と良好な関係を築いています。その児童／生徒は、あなたを無視したり、一言で回答したりすることが多いです。しかし、同僚の教員の一人とのやり取りを見ていると、児童／生徒がその教員に対しては、あなたに見せるような行動を取っていないことに気づきます。

あなたならどうしますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	しない	おそらくしない	おそらくする	する
(1)	その児童／生徒の行動が改善するか今後2週間観察する	☐	☐	☐	☐
(2)	その児童／生徒にもっと積極的な行動を促すために同僚が用いた方法について話すため、同僚との話合いを設定する	☐	☐	☐	☐

(3) 次の授業の後でその児童／生徒と話し、児童／生徒との関わりが限定的である理由を探る

☐ ☐ ☐ ☐

(4) その他

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_67 (F)_ja-JP

対象学級においては、あなたの授業のほとんどのテーマにおいてグループワークが必須の学習方法になっています。 一人の女子児童／生徒はグループワークが本当に嫌いで、グループワークを他のメンバーにとっても不愉快なものにすることで知られています。 翌日の授業活動の計画を立てていて、その児童／生徒が自分の役割を果たさないために揉めごとが起こるという他の児童／生徒からの苦情を思い出します。

あなたならどうしますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	おそらくしない	おそらくする	
しない			する

(1) グループワークのときにその児童／生徒が集中できる役割を探す

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 公平なグループメンバーであることへの期待や責任を明確にしてから授業を始める

☐ ☐ ☐ ☐

(3) その児童／生徒が公平にグループに貢献できることを伝え、児童／生徒を励ます

☐ ☐ ☐ ☐

(4) その他

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_Headline_School_Climate_ja-JP

学校の雰囲気

TQ_69_ja-JP

この学校について、以下のことはどの程度当てはまりますか。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1) この学校は、教職員が学校の意思決定に積極的に参加する機会を提供している	☐	☐	☐	☐
(2) この学校は、保護者が学校の意思決定に積極的に参加する機会を提供している	☐	☐	☐	☐
(3) この学校は、児童／生徒が学校の意思決定に積極的に参加する機会を提供している	☐	☐	☐	☐
(4) お互いに助け合う協力的な学校文化がある	☐	☐	☐	☐
(5) 教職員が、指導や学習についての信念を共有している	☐	☐	☐	☐
(6) 教職員が、校内で一貫して児童／生徒の行動に関する規則を守らせている	☐	☐	☐	☐

(7) この学校は、教職員が率先して新たな試みを行うよう促している

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 教員は、互いに信頼しあうことができる

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 教員は、専門的な学習のためのコミュニティを主導している

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 教員は、率先して共同活動を行っている

☐ ☐ ☐ ☐

(11) 教員は、できる限り率先して自身の専門性を向上させている

☐ ☐ ☐ ☐

(12) 教員は、授業ではない学校行事やプロジェクトに参加している

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_70_ja-JP

この学校について、以下のことはどの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1) 通常、教員と児童／生徒は互いに良好な関係にある	☐	☐	☐	☐
(2) ほとんどの教員は、児童／生徒の幸せが重要であると考えている	☐	☐	☐	☐
(3) ほとんどの教員は、児童／生徒の声に関心をもっている	☐	☐	☐	☐
(4) 児童／生徒が特別な援助を必要としているとき、学校は支援している	☐	☐	☐	☐

TQ_71_ja-JP

以下のことは、あなたの学校の校長にどの程度当てはまると思いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1)	☐	☐	☐	☐
(2)	☐	☐	☐	☐
(3)	☐	☐	☐	☐
(4)	☐	☐	☐	☐
(5)	☐	☐	☐	☐
(6)	☐	☐	☐	☐

(1) 校長は、この学校について明確なビジョンをもっている

(2) 校長は、新たな指導実践を開発するために教員間の協力を促している

(3) 校長は、教員が責任をもって指導力を向上するようにしている

(4) 校長は、担当する児童／生徒の学習成果に教員が責任を感じるようにしている

(5) 校長は、重要な決定において全ての教職員に意見を述べるよう促している

(6) 校長は、教職員との職務上の関係が良好である

(7) 校長は、保護者との職務上の関係が良好である

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 校長は、児童／生徒との職務上の関係が良好である

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 校長は、教員の仕事ぶりを効果的に管理できるようにしている

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 校長は、教職員に対して有益なフィードバックを行っている

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_73_ja-JP

以下のことは、あなたの学校の全般的な雰囲気にどの程度当てはまると思いますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる

(1) 教員は専門的なサポートを学校運営チームから受けることができる

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 校長は教員の専門技能を信頼している

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 児童／生徒が学校での学習活動に取り組むことが期待できる

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 児童／生徒が宿題をすることが期待できる

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_74_ja-JP

児童／生徒のいじめについて、この学校では、以下のことはどの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる

(1) この学校の教員は、いじめは許されないことを児童／生徒に明確にしている

☐ ☐ ☐ ☐

(2) この学校では、他の児童／生徒がいじめられている場合、児童／生徒は教員にそれを伝える

☐ ☐ ☐ ☐

(3) この学校には、個人的な問題がある場合に児童／生徒が頼ることのできる大人がいる

☐ ☐ ☐ ☐

(4) この学校の教員は、児童／生徒のことを心から気にかけている

☐ ☐ ☐ ☐

(5) この学校では児童／生徒間のいじめが問題である

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_75_ja-JP

児童／生徒の嫌がらせについて、この学校では、以下のことはどの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1)	この学校の児童／生徒は、服装や外見についてからかわれる	☐	☐	☐	☐
(2)	この学校の児童／生徒は、民族性を理由にさげすまれる	☐	☐	☐	☐
(3)	この学校の児童／生徒は、ジェンダー表現や性的な特徴についてからかわれる（例：「男らしさ」や「女らしさ」が足りないという発言や、同性愛やトランスジェンダーを嫌悪する言葉など）	☐	☐	☐	☐
(4)	この学校には、少数民族又は先住民族の児童／生徒が差別を受けた場合に頼ることのできる大人がいる	☐	☐	☐	☐
(5)	この学校には、ジェンダー表現や性的な特徴で差別された場合に児童／生徒が頼ることのできる大人がいる	☐	☐	☐	☐

TQ_76_ja-JP

この学校における変化について、それが学校主導か外部主導かにかかわらず、以下のことはどの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1) この学校では、変化のための取組が多すぎる	☐	☐	☐	☐
(2) この学校の変化にはうんざりする	☐	☐	☐	☐
(3) この学校では、あまりにも多くのことを変えるよう求められる	☐	☐	☐	☐
(4) 絶えず周りの何かを変えることを求められているように感じる	☐	☐	☐	☐

(5) この学校の何かを変える前に、まず安定した期間が欲しい

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 必要な資源がないのに変化のための取組をするよう求められる

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_Headline_Occupational_Perceptions_ja-JP

職業に対する意識

TQ_77_ja-JP

あなたにとって、教員として以下のことはどのくらい重要ですか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く重要ではない	あまり重要ではない	ある程度重要	非常に重要

(1) 教職は自分の能力に合っている

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 教職は安定した職業である

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 勤務時間が家庭の事情に合っている

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 教職は勤務に柔軟性がある （旅行、パートタイム、家庭の用事）

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 教えることで次の世代に影響を与えることができる

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 教えることで社会の不公平の改善に取り組むことができる

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 教えることはやりがいのある社会貢献になる

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 子供や若者と関わるのが好きである

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 教職は自主性を発揮できる

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_78_ja-JP

今後何年間、教員として働き続けたいと思いますか。

数字を入力してください。

☐ 年

TQ_79_ja-JP

以下のことは、今後5年以内にあなたが授業をする立場を離れる要因となる可能性がどの程度ありますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	可能性は全くない	可能性はあまりない	可能性はある	可能性は高い

(1) 教育関連で授業をしない立場になること

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 教育に関わらない仕事に就くこと

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 更なる教育や研修

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 個人のあるいは家庭の事情

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 退職

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_80_ja-JP

あなたの学校で教員としての経験の中で、以下のことはどの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

全くない	いくらかある	かなりある	非常によくある

(1) 職務上のストレスを感じる

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 私生活を送る時間を確保できている

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 教員としての職務が精神的に悪影響をもたらしている

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 教員としての職務が身体的に悪影響をもたらしている

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_81_ja-JP

あなたの学校での業務に関して、以下のことはどの程度ストレスに感じますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

全く感じない	いくらか感じる	かなり感じる	非常によく感じる

(1) 多大な授業準備があること

☐ ☐ ☐ ☐

(2) 授業の数が多すぎること

☐ ☐ ☐ ☐

(3) 採点業務が多すぎること

☐ ☐ ☐ ☐

(4) 事務的な業務が多すぎること（例：書類の記入）

☐ ☐ ☐ ☐

(5) 教員の欠勤による追加的な業務があること

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 児童／生徒の学力に対して責任を負っていること

☐ ☐ ☐ ☐

(7) 学級の規律を保つこと

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 児童／生徒に脅迫されたり児童／生徒から暴言を受けたりすること

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 地方自治体・国からの要求の変化に対応すること

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 保護者の懸念に対処すること

☐ ☐ ☐ ☐

(11) 特別な教育支援を要する児童／生徒のために授業を適応させること

☐ ☐ ☐ ☐

(12) 児童／生徒の社会情緒的ウェルビーイング（幸せ）に責任を負っていること

☐ ☐ ☐ ☐

(13) この学校のカリキュラムやプログラムの変化についていくこと

☐ ☐ ☐ ☐

(14) 多様性や公平性に関する問題、懸念、揉めごとに関する業務が多すぎること

☐ ☐ ☐ ☐

(15) 自分の職務を予期せぬ事態に適応させなければならないこと（例：自然災害、公衆衛生上の緊急事態・パンデミック、人道危機）

☐ ☐ ☐ ☐

(16) 専門的な学習についていくこと

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_82_ja-JP

あなたが仕事全般についてどのように感じているかをお尋ねします。 以下のことは、どの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1)	☐	☐	☐	☐
(2)	☐	☐	☐	☐
(3)	☐	☐	☐	☐
(4)	☐	☐	☐	☐

(1) 教員であることは、悪いことより、良いことの方が明らかに多い

(2) もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい

(3) 可能なら、別の学校に異動したい

(4) 教員になったことを後悔している

(5) 現在の学校での仕事を楽しんでいる

☐ ☐ ☐ ☐

(6) 他の職業を選んでいた方が良かったかもしれないと思う

☐ ☐ ☐ ☐

(7) この学校を良い職場だと人に勧めることができる

☐ ☐ ☐ ☐

(8) 教職は社会的に高く評価されていると思う

☐ ☐ ☐ ☐

(9) 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している

☐ ☐ ☐ ☐

(10) 全体としてみれば、この仕事に満足している

☐ ☐ ☐ ☐

TQ_83_ja-JP

以下のことは、どの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1) 職務に対して支払われる給与に満足している	☐	☐	☐	☐
(2) 給与以外の教員としての雇用条件に満足している（例：福利厚生、勤務時間）	☐	☐	☐	☐
(3) この学校では、教員は児童／生徒に高く評価されている	☐	☐	☐	☐
(4) この学校では、教員は保護者に高く評価されている	☐	☐	☐	☐
(5) この国や地域では、教員の意見は政策立案者に高く評価されている	☐	☐	☐	☐
(6) この国や地域では、教員は教育政策の決定に意思を反映できる	☐	☐	☐	☐
(7) この国や地域では、教員はメディアに高く評価されている	☐	☐	☐	☐

TQ_84_ja-JP

あなたの教員としての経験について、以下のことは、どの程度当てはまりますか。

それぞれについて、当てはまるものを一つ選択してください。

	全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常によく当てはまる
(1) 自分の教えている教科が好きである	☐	☐	☐	☐
(2) 教えているとき、しばしば幸せだと感じる	☐	☐	☐	☐
(3) 概して、熱意をもって教えている	☐	☐	☐	☐
(4) 教えることの面白さややりがいに満足している	☐	☐	☐	☐

TQ_Headline_End_ja-JP

質問はここまでです。

御協力ありがとうございました。

この質問紙への回答が終わりましたら、校内締切り日までに、終了したことを必ず校内担当者にお伝え願います。